

訓練校修了者の特典

- (1) 卒業時に行う技能照査（学年末試験）に合格すると訓練校修了証書とは別に東京都知事より技能照査合格証書と技能士補の称号が授与されます。
- (2) 国家技能検定（2級技能士）へ卒業年度に受検でき、その際、「学科試験」は免除の特典があります。
- (3) 訓練科目のうち溶接法を修了したのものには卒業時にガス溶接技能講習修了証及びアーク溶接特別教育修了証を交付します。
- (4) 安全衛生法に定められた自由研削といし及び低圧電気取扱業務・足場組み立て・フルハーネス取扱い特別教育を行い、特別教育修了証を交付します。
- (5) 普通救命講習を行い、救命技能認定証を交付します。

沿革

- 昭和 28 年 政府が技能者養成規定を設定。官公庁公認の板金技能者養成所の授業を開始。
- 昭和 31 年 協同組合養成所で第 1 期の修了生。
- 昭和 33 年 職業訓練法が施行され、技能者養成所が職業訓練所に変更。
- 昭和 34 年 初の技能検定が実施される。
- 昭和 43 年 東京都板金工業組合の設立にともない、東京都板金技能者共同職業訓練所と改称。昼間部と夜間部とを併設。
- 昭和 44 年 職業訓練法の改正により、東京都板金工業組合高等職業訓練校と改称。
- 昭和 46 年 夜間訓練廃止。
- 昭和 49 年 訓練校が東京都知事賞を受彰。
- 昭和 50 年 3 年制から 2 年制に変更。
- 昭和 52 年 訓練校が労働大臣賞を受彰。
- 昭和 53 年 東京都板金高等職業訓練校に改称。
- 昭和 63 年 全国作品展示会で『ドラゴンボール』が労働大臣賞特選（全国第 1 位）。
タンザニア政府高官が本校を見学。
- 平成 元年 訓練校が労働大臣特別感謝状を受彰。
- 平成 6 年 全国作品展で『夢殿』が労働大臣賞特選（全国第 1 位）
- 平成 7 年 『同窓会だより』創刊される。
- 平成 10 年 職業能力開発促進法が一部改正され、金属加工系塑性加工科から建築外装系建築板金科に訓練課程が改定される。
- 平成 13 年 集合実技用作業分析表を刊行
- 平成 16 年 訓練校創立 50 周年記念式典挙行（池之端文化センター）
- 平成 16 年 新板金会館竣工
- 平成 19 年 組合事務所移転に伴い、板橋区小豆沢に移る。
- 平成 25 年 東京消防庁感謝状を受彰（普通救命講習）
- 平成 27 年 訓練校創立 60 周年式典挙行（ホテルラングウッド）



ボウリング大会 (R5.2.9)



校外学習 (R5.8.23)

主な訓練行事

- (1) 工場見学会
建築板金業界に関連ある工場の見学
- (2) 校外研修会
伝統的の神社仏閣の銅屋根等の見学
- (3) ものづくり匠の技の祭典・技能祭
訓練生の集合実技課題展示と一般への P R
- (4) レクリエーション
ボウリング大会
- (5) 休 暇
夏休み、冬休み、春休み

職業能力開発促進法認可第13号
労働大臣 受彰
東京都知事



東京都板金高等
職業訓練校

2025

訓練生募集案内

若い技能者は企業の宝です



実技訓練スナップ (R4.9.7)

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-27-9

東京都板金工業組合 内

TEL 03 - 5915 - 6333



入校のすすめ

基本をおぼえましょう

近年、建築板金工の仕事はあらゆる面で幅広い範囲のものが要求されております。形状が複雑化したばかりでなく、主材料もガルバリウム鋼板、ステンレス鋼板、銅板、亜鉛鉄板等増え、塩ビ製品も大きく変わってきています。また省力化の為に機械工具類も改良されたものが使われるようになってきています。

しかし、私たち専門業者の立場で考えると“基本はひとつ”だと思います。基本となる技能と知識を持っていただければどんな仕事でも恐れることはありません。技能者が応用のきく“基本”を身につけていけば営業の幅も広がりますし、仕事に奥行きも出てくることとなります。初心者にとっても“基本”を習得することにより、技能の上達も早くなり将来は高収入につながるようになります。

これからは資格が必要です。最近では発注の際に資格の有無を確認する顧客が多くなっているため困ることもできます。当訓練校修了生には種々の資格、恩恵が与えられるので板金技能者となるための最短コースは訓練校を卒業することだと確信しています。私たち訓練校は以上の観点にたって『板金技能者の後継者をつくるための専門機関』として訓練校を運営しています。将来の技能者を目指す方々に入校をおすすめする次第です。



入校式 (R5.4.12)

訓練校入校要項

訓練校に入るには、次の募集要領を読んでご応募下さい。

- (1) **募集人員** 8名 (建築外装系建築板金科)
- (2) **入校資格** 職業訓練指導員のもとで建築板金工として指導を受けているもの、または受けようとしているもので、次に該当するもの。
 - ① 原則として高等学校教育を修了したもの。
 - ② ①と同程度の学力あり、と校長が認めたもの。
 - ③ 経験、年齢、性別は問いません。
- (3) **入校の申請** 所定の用紙を使って次の書類を提出して下さい。
 - ① 入校申請書 1通
 - ② 誓約書 1通
 - ③ 写真 2枚
(タテ 3.5cm、ヨコ 2.5cm)
- (4) **申込受付** 3月10日までに、上記の書類を事務局までお届け下さい。
 なお、定員に達し次第締切らせていただきますのでお早めに提出して下さい。
- (5) **学費** 入校にさいしては、次の学費を納めて下さい。

① 入学金	120,000円
② 前期授業料	110,000円
③ 前期派遣事業主負担金	40,000円
④ 同窓会費	3,000円
計	273,000円

- ※ なお、訓練生派遣事業主が東京都板金工業組合に加入している場合は、①入学金と③事業主負担金は半額になります。
- ※ 雇用保険もしくは一人親方特別加入のかたは、授業料が75,000円となります。
- ※ 教科書・教材・作業服等の費用は含まれます。
- ※ 授業料と派遣事業主負担金は、1年生は、各期(前期・後期)の期首に納めて下さい。2年生は、前前期首に一括で納めて下さい。請求書を送付いたします。
- ※ 一度納入されたあとは、どのような場合でもお返しいたしません。

訓練内容

職業訓練は、本来、各事業所で、それぞれの立場から技能者を養成することになりますが、私たちの業界では大企業と異なり事業所での訓練は不可能です。

従って、組合が東京都知事の認定を受けて訓練校を設立し運営をしています。

しかし、実技の全てを訓練校で指導する事は時間的にも不可能です。

訓練校の実技時間以外は各事業所が、毎日の作業の中で訓練をしていただく事になっています。

訓練校では、現在「実学一体訓練」という基本方針に基づき、基礎学科、専攻学科、基礎実技、専攻実技の養成訓練を行っています。

進級・卒業のためには80%以上の出席が必要です。

訓練科目と訓練時間

科 目		1年生	2年生	合 計
学普 科通	社 会	12	12	24
	小 計	12	12	24
系基 礎学 科	建 築 概 論	16		16
	建 築 生 産 概 論	8	12	20
	建 築 構 造	24		24
	建 築 設 備	8	8	16
	建 築 製 図	80	84	144
	建 築 計 画		8	8
	安 全 衛 生	20		20
専 攻 学 科	関 係 法 規	8	32	40
	小 計	164	144	308
	材 料	28		28
	板 金 加 工 法	40	48	88
	板 金 施 工 法	28	36	64
実 技	仕 様 及 び 積 算		8	8
	小 計	96	92	188
	系基礎集合実技	64	24	88
	専攻集合実技		64	64
	系基礎分散実技	* 576	* 576	* 1152
専攻分散実技	* 576	* 576	* 1152	
小 計	1216	1240	2456	
総訓練時間数		1488	1488	2976

1. *印の分散実技は、各事業所で修得していただきます。
2. 校外研修会・見学会・特別講義なども含まれております。
3. 訓練校は、原則として毎週1回木曜日(9時～17時)です。

令和6年 総卒業生数 1602名